

SCHOOL! YELL!! エール

Vol.7

やるべきことをやり、楽しむことも！

上小原中学校 生徒会



上小原中の生徒会は、本部（会長・副会長・書記）と学習・文化・保健体育・生活環境の4つの専門部で構成されています。各事業やイベントを本部と各専門部が連携して行っています。

本部の主な活動は、毎年行う全体レクリエーションの企画・運営、正門前で行うあいさつ運動や生徒会ラジオの実施等です。

「学校生活を生徒自身の手でより良いもの」にしていくことが生徒会の目的ですが、しっかりと楽しんでいくことも大切だと思っています。そのために、まず自分が活動を楽しんでいきたいと思っています。立候補して去年は副会長、今年は生徒会長に選出してもらったので、学校のみんなも楽しい学校生活を送ってもらえるように頑張ります。



▲朝のあいさつ運動の様子



生徒会長
みやま あやね
宮城 紬寧 さん(2年生)

公民

地理

歴史

文化

文化財

まちづくり

人物

その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

鹿屋街道

第9路 ふるさとの味 郷土料理

食はその土地における文化の形成において重要な役割を果たし、ふるさとを想起させる要素の一つです。農林水産省は郷土料理として選定する必須項目として①地元で入手できる食材を利用する、②歴史・文化・風習的な特徴がある、③家庭・地域で作られ継承されている3項目を定めています。鹿屋市にも郷土料理として受け継がれてきたふるさとの味がありますので、その一部を紹介します。

本市で入手できる食材の代表格・サツマイモ。本市にはサツマイモを使った郷土料理として「がね」「そまげ」「ねったぼ」等があります。

「がね」は甘めの衣でサツマイモや太めに千切りした野菜を揚げた料理。形がカニ（鹿児島弁



▲おもいフェスでも登場した「がね」

で、がねに似ていることからそのまま名称になったとされています。

「そまげ」は煮たサツマイモと餅を熟々のうちにつぶし、そば粉を加えて丸めてきな粉をまぶした料理です。「ねったぼ」は、サツマイモと餅を一緒に蒸し、練り上げて丸めたもので、年末年始に各地域で行われる餅つきをする際に一緒に作られることが多いです。

そのほかに本市では、サツマイモでんぶんの粉を熱湯でかき混ぜて団子を作り、汁物とする「ぎゅちんこ（でんぶん団子汁）」や落花生を使った「だつきしよ豆腐」等があります。また、落花生を塩茹でした「茹で落花生」も大隅地域ならではの料理の一つとされています。

年末年始に帰省する家族や友人と郷土料理を食べてふるさとの話に花を咲かせてみませんか。



▲ほんのりと芋ときなこの匂いが口に広がる「ねったぼ」